

令和3年度 第5回事業評価監視委員会 一括審議案件一覧(事業進捗等に大きな変更がない事業)

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費 (億円) 上段: 前回 評価時 下段: 現時点	事業概要	事業を巡る 社会経済情勢等 の変化	主な事業の 進捗状況	主な事業の進捗 の見込み	コスト削減や 代替案等 の可能性	事業の投資効率性	都道府県・政令市等 の意見	対応方針 (原案)
一般国道1号 淀川左岸線延伸部	大阪府門真市ひえ島町～大阪府 大阪市北区豊崎	H29年度事業化 用地未着手 R1年度工事着手	4,000 4,000 (+0%)	淀川左岸線延伸部は、政府の都市再生プロジェクトとして位置づけられた「大阪圏の新たな環状道路(大阪都市再生環状道路)」の一部を構成する道路で、門真市ひえ島町から大阪市北区豊崎を結ぶ延長8.7kmの自動車専用道路である。 第二京阪道路と接続することにより、大阪ベイエリア(阪神港、夢洲・咲洲地区)と名神高速道路などの主要な高速道路を結び、物流の効率化や周辺地域との連絡強化による大阪・関西の経済活性化、競争力強化、災害時の避難・救援活動を支える重要な路線である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。	進捗率 (事業費) 約1%	事業進捗上の大きな課題はなく、引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。	今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B :4,254億円 総費用C :3,109億円 B/C=1.4 【残事業】 総便益B :4,254億円 総費用C :3,017億円 B/C=1.4	【大阪府知事】 「対応方針(原案)」案については異存ありません。 予算、工程等に関し、本府と十分な調整を図りながら、令和5年度の工事本格化、一日も早い開通に向けて、工事の安全対策に万全を期した上で、コスト削減にも努めつつ、着実な事業推進をお願いいたします。 【大阪市長】 一般国道1号淀川左岸線延伸部は、大阪都市再生環状道路の一部を構成する道路であり、淀川左岸線(1期、2期)や第二京阪道路を介して、関西国際空港や国際コンテナ戦略港湾・阪神港を有する大阪臨海部と名神・新名神高速道路といった国土軸とを直結し、広域的なネットワークを形成する重要な路線であることから、「対応方針(原案)」案のとおり事業を継続し、一日も早い供用に向け、更なる整備推進をお願いいたします。 本市としましては、事業者とともに地域の理解や協力を得て、事業が円滑に進むよう協力してまいりますので、工事の安全確保及び地域住民の不安解消に向け、これまでに引き続き、取り組んでいただきますよう、お願いいたします。 また、建設コストの削減等についても、併せてご検討いただきますよう、重ねてお願いいたします。	事業継続
国営明石海峡公園	兵庫県神戸市、 淡路市	H5年度～R10年度	958 958 (+0%)	主として近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対処するために設置された、淡路地区及び神戸地区からなるイ号国営公園である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。	進捗率 (事業費) 約90%	淡路地区においては、海岸ゾーンの広場整備、護岸復旧、展望ゾーンの用地取得等を実施し、神戸地区においては、引き続き森のゾーンの基盤整備、自然保全ゾーン、水と緑のゾーンの園路広場整備等を実施し、早期の全面開園を目指す。	今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用によるコスト削減や官民連携等を図りながら、引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B :3,486億円 総費用C :2,149億円 B/C=1.6 【残事業】 総便益B :625億円 総費用C :152億円 B/C=4.1	【兵庫県知事】 国営明石海峡公園は明石海峡大橋周辺地域の広域レクリエーション形成にとって極めて重要な公園である。 淡路地区は、淡路島観光の中核施設として淡路地域の観光振興に大きく寄与しており、県としても交流人口の拡大に向け、北淡路地域に立地する花緑関連施設のネットワークを形成するうえで重要な施設として位置づけている。 今後とも、誘客の目玉となる特徴的な花修景による魅力向上や、近接する夢舞台や県立淡路島公園等との更なる連携を図っていただくとともに、未開園区域の整備を推進していただきたい。また、海岸ゾーンでのPark-PFIによる整備について、民間事業者と共に着実な整備及び運営を行っていただきたい。 神戸地区は、平成28年5月に一部開園し、里山文化の次世代への継承に向け、公園利用者への里山体験プログラム等の提供や、児童生徒の環境学習の場としての利用が進んでいる。引き続き、更なる広報による知名度向上や周辺施設と連携した効果的な公園運営を図っていただくとともに、未開園区域の整備を推進していただきたい。 なお、事業の推進に当たっては、最新の知見を踏まえた新技術・新工法の採用等により、可能な限りコスト削減に取り組んでいただきたい。また、Park-PFIなど民間投資の導入による一層の魅力向上にも取り組んでいただきたい。	事業継続
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園	奈良県奈良市、 高市郡明日香村	S46年度～R22年度	929 929 (+0%)	我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため閣議決定を経て事業化された、飛鳥区域及び平城宮跡区域からなるロ号国営公園である。	事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。	進捗率 (事業費) 約50%	飛鳥区域では、既開園区域において公園施設の老朽化対策と合わせたバリアフリー化等の機能向上を実施、平城宮跡区域では、第一次大極殿院における建造物の復原整備を計画的に実施する。	今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していく。	【事業全体】 総便益B :8,120億円 総費用C :3,307億円 B/C=2.5 【残事業】 総便益B :857億円 総費用C :458億円 B/C=1.9		事業継続